

LED インジケータランプメーター 取扱説明書

製品番号 05-05-0123

適応車種 DC12V 車用

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎社外品の H.I.D キット、他社製 LED ヘッドライトやフォグランプ類は、絶対に同時装着しないで下さい。
バラスト/インバーター（電圧変換装置）からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る物があり、製品故障や動作不良の原因となります。
- ◎ヘッドライト ON/OFF スwitch、社外品点火装置の同時装着は行わないで下さい。
- ◎AC12V の電源でのご使用はしないで下さい。又 DC12 車用と記載していますが販売されている全ての DC12V 車に対応している訳ではありません。
車種によりインジケータランプが正常に点灯しない場合があります。
- ◎ガソリン警告灯について、残量が減った際にマイナス接続する方法のモデルでないと使用出来ません。
※抵抗値の値によって残量レベル表示が変化する車両又は、モンキー（FI）のようなセンサーがガソリンに触れなくなりセンサーが反応する車両には使用出来ません。

～特 徴～

- ブラックメーターパネルに LED インジケータランプを採用し、視認性を高めております。
- ボディは軽量でコンパクトスリム形状を採用し、取り付け方法はΦ 22.2、Φ 25.4mm のパイプに取り付ける事が可能で自由に装着する事が出来ます。
- ヘッドライトの交換やメーター交換でインジケータランプを取り外した場合に使用する LED インジケータランプメーターです。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

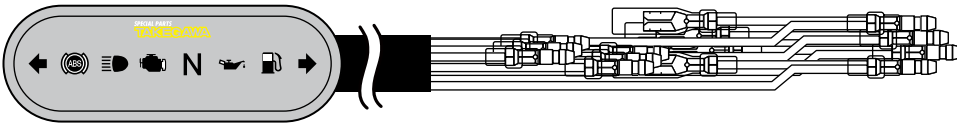
警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）

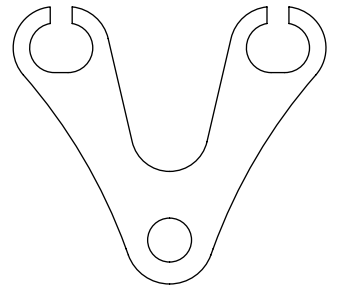
- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご利用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

キット内容

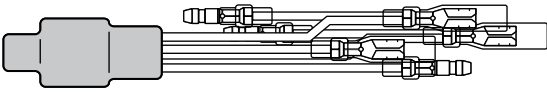
①メーター本体



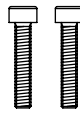
⑤メーターステー



②サブハーネス



③ソケットキャップスクリュー (M3x16xP0.5)



④ワッシャ



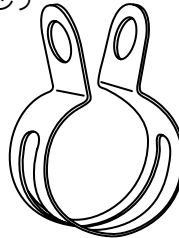
⑥クッションラバー



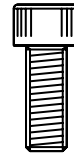
⑧ラバー



⑨ハンドルパークランプ



⑩ソケットキャップスクリュー (M8x20xP1.25)



⑦クッションカラー



⑪ワッシャ

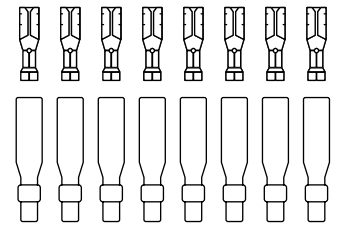


⑫ナット M8 P1.25

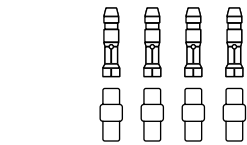


番号	部品名	数量	リペア品番	入数
1	メーター本体	1	—	—
2	サブハーネス	1	—	—
3	ソケットキャップスクリュー (3x16xP0.5)	2	—	—
4	ワッシャ (M3)	2	—	—
5	メーターステー	1	—	—
6	クッションラバー	2	—	—
7	クッションカラー	2	—	—
8	ラバー	1	—	—
9	ハンドルパークランプ	1	—	—
10	ソケットキャップスクリュー (M8x20)	1	00-00-0739	5
11	ワッシャ (M8)	1	—	—
12	ナット (M8/U ナット)	1	00-00-0430	4
13	メスギボシセット (Φ 3.5)	8	00-00-0270	5
14	オスギボシセット (Φ 3.5)	4	00-00-0270	5

⑬メスギボシセット (Φ 3.5)

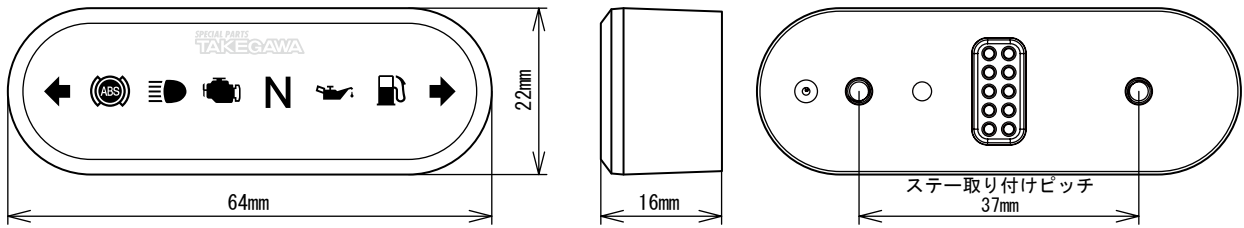


⑭オスギボシセット (Φ 3.5)

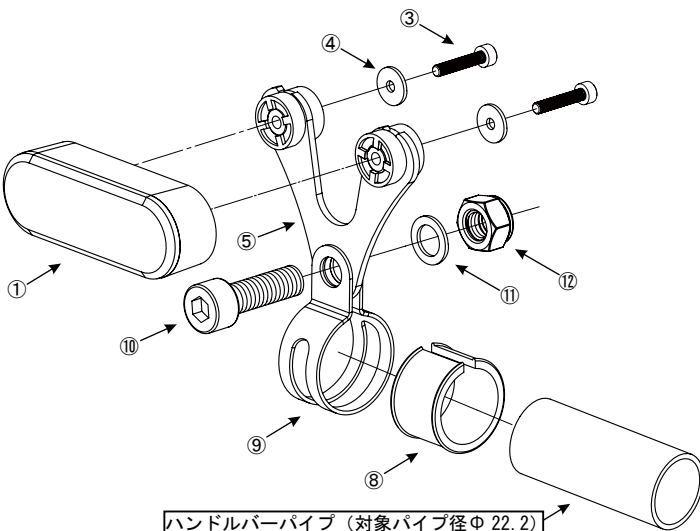


※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませ
お願い致します。
※補修パーツ、ナット (M8) リペア品番 00-00-0430 は 6 角ナットになります。
※⑤メーターステーには⑥、⑦が装着されています。

メーター本体寸法



付属品を使用したメーター本体の固定方法

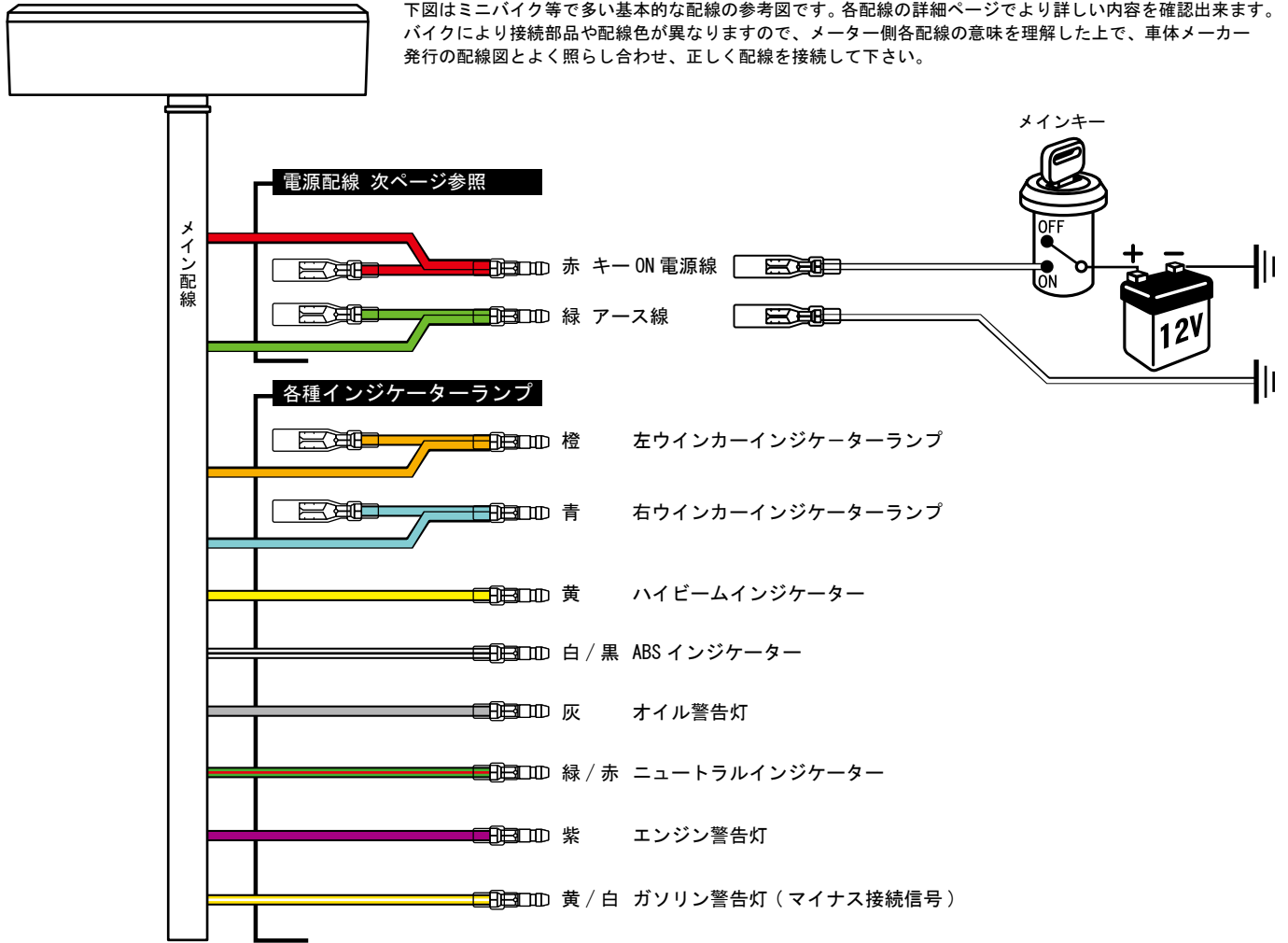


メーター付属の⑨ハンドルパークランプは取り付け径が、Φ 22.2mm と Φ 25.4mm のパイプの取り付けに対応しています。
■メーターステーを装着します。(Φ 22.2 の場合)
Φ 22.2 のハンドルパイプ等に⑧ラバー、⑨ハンドルパークランプでパイプにクランプし、⑩ソケットキャップスクリュー、⑪ワッシャ、⑫ナットを用いて、⑤メーターステーを固定します。
クランプ取り付け径 Φ 25.4mm のパイプに使用する場合は、⑧ラバーは使用せずパイプに取り付けます。
▲注意：必ず規定トルクを守る事。ソケットキャップスクリュー
トルク：15N・m (1.5kgf・m)
■メーターをメーターステーに固定します。
⑤メーターステーに⑥クッションラバー、⑦クッションカラーが装着している事を確認し、⑤メーターステーに④ワッシャ、③ソケットキャップスクリューを用いて、①メーター本体を固定します。ステーはラバーマウント仕様になります。
▲注意：必ず規定トルクを守る事。ソケットキャップスクリュー
トルク：4N・m (0.4kgf・m)

ハンドルパイプ (対象パイプ径 Φ 22.2)

メインハーネス概要

下図はミニバイク等で多い基本的な配線の参考図です。各配線の詳細ページでより詳しい内容を確認出来ます。バイクにより接続部品や配線色が異なりますので、メーター側各配線の意味を理解した上で、車体メーカー発行の配線図とよく照らし合わせ、正しく配線を接続して下さい。

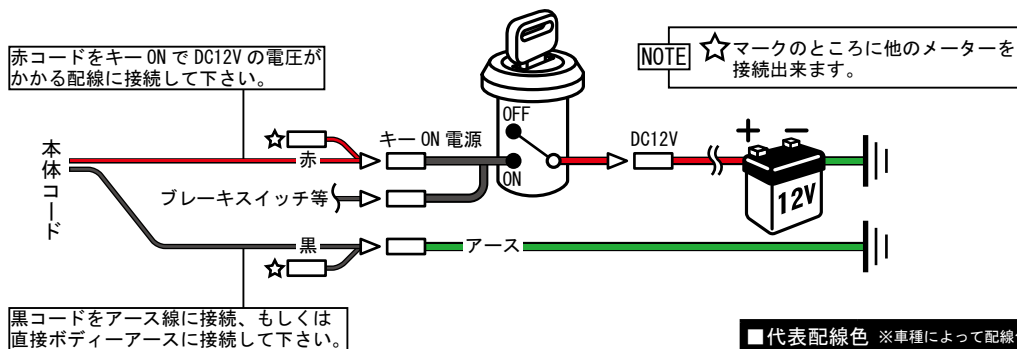


電源配線

■ 下図はミニバイク等で多い基本的な配線の参考図です。バイクにより接続部品や配線色が異なります。メーター側各配線の意味を理解した上で、車体メーカー発行の配線図とよく照らし合わせ、正しく配線を接続して下さい。

■ DC12V 電源に接続 **メイン配線の赤コードをキー ON 時に DC12V がかかる配線へ接続して下さい。**

- 作動電圧範囲は DC 10 V ~ 16 V です。AC (交流) 電源には対応していません。
- 車体側にちょうど良い接続箇所が無い場合は付属のギボシを使い接続して下さい。



キー ON (エンジン停止状態) でメーターの電源が入ります。

■ 代表配線色 ※車種によって配線色の異なる場合があります。

メーカー名	キー ON 電源色	アース線色
HONDA	黒 赤 / 黒	緑
YAMAHA	茶	黒
SUZUKI	橙	黒 / 白
KAWASAKI	茶	黒 / 黄

[DC 電源とは]

＝直流電源。キー ON 時 (エンジン停止状態) からエンジン稼働中まで比較的電圧が安定しているバッテリー電源です。車体使用差はありますが一般的なテスターで電圧を測定すると、キー ON 時 12.5 ~ 13V 前後、走行中は 12.5 ~ 14.5V 前後となります。※バッテリー付き車でも、エンジン始動に伴い電圧の発生する配線 (ヘッドライトや尾灯に多い) は AC 電源となります。

[接続上の注意]

キー ON だけで電源が入らない場合はバッテリーの劣化もしくは誤配線が原因です。完全に劣化しているバッテリーを使うと、高回転時、逆に過電圧になるばかりか、過度の負担により純正レギュレーターが故障してしまう可能性があります。

[アドバイス]

エンジンを停止状態でブレーキランプを点け、さらにウインカーを点けて下さい。点滅速度が異常であればバッテリーが弱っています。

インジケータランプ配線

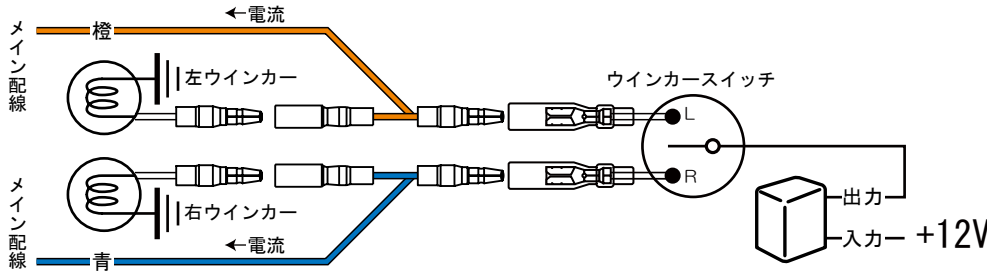
バイクにより接続部品や配線色が異なります。
メーター側各配線の意味を理解した上で、車体メーカー発行の配線図とよく照らし合わせ、正しく配線を接続して下さい。

■車種によっては回路の仕組み上利用出来ない場合、配線方法が異なる可能性があります。

■エンジン警告灯 黄 LED (マイナス接続で点灯) エンジンチェックライトやFI 警告灯などにご使用下さい。

■ABS ランプ 黄 LED (マイナス接続で点灯) ABS 車両にご使用下さい。

■ウインカーインジケータ 緑 LED (プラス接続で点灯)
各コードをウインカーのプラス線に割り込ませて下さい。 橙コード：左ウインカー 青コード：右ウインカー



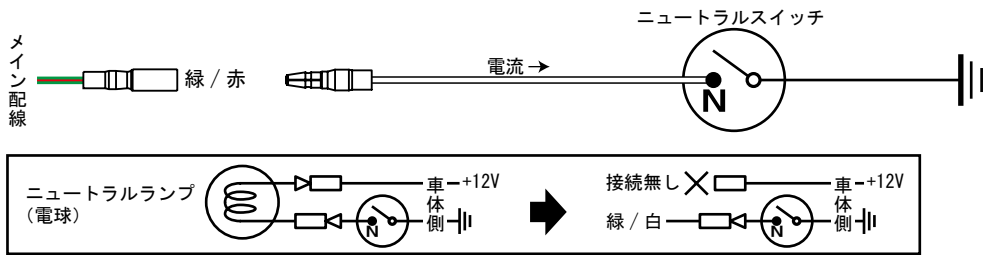
■ウインカーリレー 代表配線色
※車種によって配線色の異なる場合があります。

メーカー名	参考配線色	
HONDA	橙	空
YAMAHA	濃茶	濃緑
SUZUKI	黒	若葉
KAWASAKI	緑	灰

下図はミニバイク等で多い基本的な配線の参考図です。バイクにより接続部品や配線色が異なります。
メーター側各配線の意味を理解した上で、車体メーカー発行の配線図とよく照らし合わせ、正しく配線を接続して下さい。

■下記は LED を点灯させる為の参考例で、車種によっては回路の仕組み上利用出来ない場合、配線方法が異なる可能性があります。

N ■ニュートラルランプ 緑 LED (マイナス接続で点灯)
緑 / 赤コードをニュートラル時、アースと導通する配線へ接続して下さい。

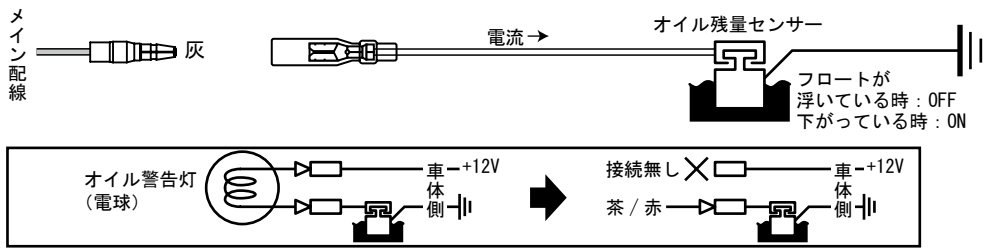


■代表配線色
※車種によって配線色の異なる場合があります。

メーカー名	配線色
HONDA	若葉 / 赤
YAMAHA	空
SUZUKI	青 / 黒
KAWASAKI	若葉

■オイル警告灯 赤 LED (マイナス接続で点灯)
仕様上センサーからの信号を感じ、インジケータが点灯・消灯するまでに、多少タイムラグがあります。

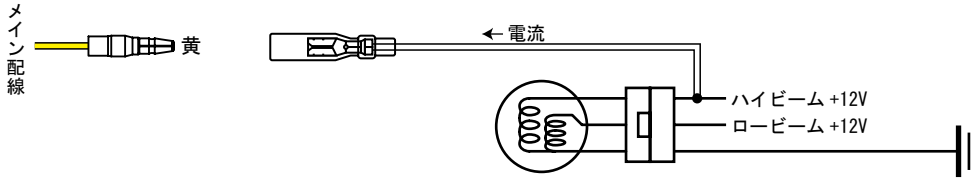
■オイル警告灯としての利用例 (マイナス接続) 多いのはこちらのタイプです。
灰コードを警告時アースと導通する配線へ接続して下さい。



■代表配線色
※車種によって配線色の異なる場合があります。

メーカー名	配線色
HONDA	緑 / 赤
YAMAHA	黒 / 赤
SUZUKI	青 / 白
KAWASAKI	黒 / 赤

■ハイビームインジケータ 青 LED (プラス接続で点灯) 黄コードをハイビームの配線へ分岐接続して下さい。

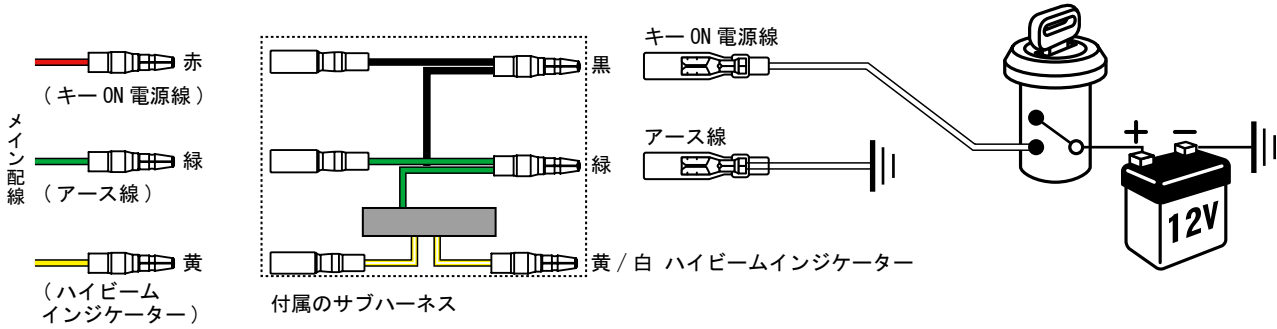


■ハイビームインジケータが正常に点灯しない場合の対処法

ハイビームインジケータが全く点灯しない、又は点灯はしているが、ロービームの時も点灯しているなど、ハイビームインジケータが正常に点灯しない場合は、付属のサブハーネスを使用し、下記配線図を参考に接続する事で正常に機能します。

※ヘッドライトをマイナス電圧で点灯している車両はこの接続を試してみてください

例：モンキー (F1)、エイブ (F1) 等



■ガソリン警告 黄 LED (マイナス接続で点灯)
黄 / 白コードをガソリン残量が無くなりアースと導通する配線へ接続して下さい。

